

日本社会病理学会  
第 21 回 大会  
報告要旨集

開催校 : 日本大学

開催期日 : 2005 年 9 月 17 日(土)・18 日(日)

会 場 : 日本大学 文理学部 本館 3 階

## 日本社会病理学会 第21回大会日程

|     |                        |             |          |
|-----|------------------------|-------------|----------|
| 会 期 | 2005年9月17日（土）～9月18日（日） |             |          |
| 会 場 | 日本大学 文理学部 本館3階         |             |          |
| 理事会 | 9月17日（土）               | 11：00～12：00 | 本館 302号室 |
| 総 会 | 9月17日（土）               | 16：40～17：20 | 本館 303号室 |
| 懇親会 | 9月17日（土）               | 17：45～19：30 | 食堂 チェリー  |

### 第1日 9月17日（土）

|               |                      |          |
|---------------|----------------------|----------|
| 12：30 ～       | 受付開始（本館3階エレベーターホール前） |          |
| 13：20 ～ 13：30 | 開会式                  | 本館 303号室 |
| 13：30 ～ 16：30 | シンポジウム               | 本館 303号室 |
| 16：40 ～ 17：20 | 総会                   | 本館 303号室 |
| 17：45 ～ 19：30 | 懇親会                  | 食堂 チェリー  |

### 第2日 9月18日（日）

|               |          |          |
|---------------|----------|----------|
| 9：30 ～        | 受付開始     |          |
| 10：00 ～ 12：30 | 自由報告部会   |          |
|               | Aセッション   | 本館 302号室 |
|               | Bセッション   | 本館 303号室 |
|               | Cセッション   | 本館 304号室 |
| 13：30 ～ 16：00 | ミニシンポジウム | 本館 303号室 |
| 16：00 ～ 16：10 | 閉会会      | 本館 303号室 |

参加費      会員および臨時会員 2000円   （大学院生 1000円）

懇親会費    5000円   （大学院生 3000円）

・連絡先   ：日本大学文理学部 社会学科事務室

Tel:03-5317-9713    Fax:03-5317-9423

・会員控え室 … 305室                      ・大会本部 … 17日(304室)・18日(301室)

・報告時に配布するレジュメ・資料等は、報告者ご自身でご用意願います。

・昼食は大学付近の食堂などをご利用ください（受付に案内図を用意しています）。

第1日 9月17日(土)

## シ ン ポ ジ ウ ム

「見えざる貧困—ソーシャル・インクルージョンの観点から」

13:30 ~ 16:30 3階 303号室

司会・コーディネーター

時井 聡

淑徳大学

報 告 者

1. ソーシャル・エクスクルージョンとインクルージョン  
—— その有効性と問題点 ——

岩田 正美

日本女子大学

2. 中高年層の見えざる貧困

島 和博

大阪市立大学

3. 若年者層の見えざる貧困

宮本 みち子

放送大学

---

### 討論者のプロフィール

#### 岩田 正美氏

日本女子大学人間社会学部教授。専門は社会福祉学／貧困論。社会保障審議会委員。  
著書『ホームレス/現代社会/福祉国家』(明石書店、2000年)、『リスク社会を生きる』  
(橘木俊詔編「第5章 貧困になるリスク・貧困であることのリスク」、2004年)、  
『貧困と社会的排除—福祉社会を蝕むもの』(編著、ミネルヴァ書房、2005年)他。

#### 宮本 みち子氏

放送大学教授。社会学博士。専門は青年社会学、家族社会学、ライフコース論。  
ケンブリッジ大学社会政治学部客員研究員、厚生労働省労働政策審議会委員。  
内閣府若者の包括的自立方策に関する検討委員会座長、男女共同参画社会の将来像  
検討委員会委員。『フリーターとニート』(勁草書房 小杉礼子編)、『ポスト青年  
期と親子戦略』(勁草書房)、『若者は《社会的弱者》に転落する』(洋泉社)、  
『未婚化社会の親子関係—お金と愛情にみる家族のゆくえ』(有斐閣)他。

第2日 9月18日(日)

自由報告部会 A

【 社会病理の理論と実証 】

10 : 30 ~ 12 : 30      3階 302号室

司 会

高原 正興

京都府立大学

土井 隆義

筑波大学

報 告 者

1. コミュニケーションの階型論と社会病理の状況研究

堀越 直仁

日本大学

2. 犯罪学におけるコントロール理論に関する一考察

上田 光明

京都府立大学

3. ホームレス析出要因に関する一考察

大倉 祐二

大阪市立大学

4. ヤクザ研究の基礎について

大山 智徳

広島中央郵便局

5. 窮民のエスノグラフィー

—— 現前する都市マージナリティー ——

馬場 佳久

中央福祉医療専門学校

第2日 9月18日(日)

自由報告部会 B

【医療と逸脱】

10:30 ~ 12:30 3階 303号室

司会

金子 雅彦

防衛医科大学校

佐藤 哲彦

熊本大学

報告者

1. 医療化概念のcodificationに向けて

進藤 雄三

大阪市立大学

2. 「不良少年」研究における精神医療化と不良観の変容  
—— 精神医学を中心として ——

作田 誠一郎

山口大学

3. 子どもの医療化をめぐる母親のジレンマ  
—— AD/HDを事例として ——

佐々木 洋子

大阪市立大学

4. 撲滅から縮減へ

—— ドラッグ問題先進国における政策転換とその現状について ——

本田 宏治

立命館大学

5. 「少年非行」という誤謬概念

花野 裕康

宇部フロンティア大学



第2日 9月18日(日)

自由報告部会 C

【 子どもの発達過程と病理 】

10:30 ~ 12:30 3階 304号室

司 会

菰渕 緑 大阪府立大学

竹川 郁雄 愛媛大学

報 告 者

1. 子どものウェルビーイングと家族の情緒的関係について  
—— 家族の情緒的構造という視点から ——

木村 直子 大阪市立大学

2. 集団生活で指導の難しい幼児

早川 淳 浜松学園大学短期大学部

3. いじめにおけるResilience

青木 瑛佳 東京大学

4. 父親が語る「不登校」問題

—— 親の会に参加する父親を対象にして ——

松本 訓枝 大阪市立大学

5. キャラクターに求めるもの

叶 真介 日本理工情報専門学校

早川 淳 浜松学園大学短期大学部

第2日 9月18日(日)

ミニシンポジウム

暴力——親密な関係における虐待現象」

13:30 ~ 16:00 3階 303号室

司会・コーディネーター 野田 陽子 淑徳大学

報告者

岩井 阿礼 淑徳大学

中村 裕美子 成田国際福祉専門学校

山本 功 淑徳大学

討論者 宮園 久栄 東洋学園大学

---

**討論者のプロフィール**

宮園 久栄氏

東洋学園大学専任講師。

専門は、刑事政策・犯罪学・刑事司法・ジェンダー論。

